

1年次生 人権教育講演会

「命の大切さを学ぶ教室」

1年次生人権教育 LHR の授業において、兵庫県に在住の高松由美



子様に講演していただきました。高松さんは長男（当時高校1年）を同級生らに集団暴行で亡くされ、その後被害者支援センター立ち上げに加わりながら支援活動 continue、全国各地において「命の大切さ」を伝える講演活動を行っておられます。ご長男の等身大のパネル、シューズなども持ってきて、当時受けた暴行やご家族の胸が張り

り裂ける思い、その後に起こされた行動、「みんなで卒業してほしい」などのメッセージを語っていただきました。生徒たちは、それぞれの胸にいろいろな感情を持ちながら、高松さんの話を顔を上げて聞いている様子でした。



た。命の大切さを身に染みて感じるお話し、ありがとうございました。